

静岡県スクールソーシャルワーカー随時募集申込書

※住所・連絡先・履歴等は、「静岡県スクールソーシャルワーカー活用事業」に係る業務以外に利用することはありません。

1 申込者氏名・年齢

ふりがな 氏 名	※令和7年4月1日現在 年齢 歳
-------------	---------------------

2 現住所

〒
(転居予定がある場合) 令和 年 月 日以降(現住所と同じ場合は「同上」、未定の場合は「未定」と記入) 〒

3 連絡先(電話番号及びメールアドレス)

【自宅電話番号】	【携帯電話番号】
【緊急時連絡用】 メールアドレス	※携帯電話等の連絡が行いやすいアドレスが望ましい
【データ送受信用】 メールアドレス	※Word 及び Excel 等データの送受信ができるアドレスを記入

4 資格

スクールソーシャルワーカー活用事業の職務を遂行する上で関係がある資格のみ、資格名、資格取得年、資格登録番号を御記入ください。

--

5 相談支援活動等の経歴

活動年、活動場所、役割等を御記入ください。

6 スクールソーシャルワーカーとして、大切に考えたいこと（抱負等）

7 希望する勤務地区

☐に✓を入れてください。✓した部分の矢印に従い、次ページを記入してください。
(いずれの地区においても、静岡市及び浜松市を除きます。)

☐ 静東地区（静岡市よりも東の市町）を希望する。

└─▶ 「静東希望者記入欄用紙」を記入

☐ 静西地区（静岡市よりも西の市町）を希望する。

└─▶ 「静西希望者記入欄用紙」を記入

☐ どちらの地区でもよい

└─▶ 「静東希望者記入欄用紙」、「静西希望者記入欄用紙」の両方を記入

静岡希望者記入用紙

申込者氏名

*勤務できる条件等を記入する。

*配置の際の参考とする。希望に添えない場合がある。

*今後、勤務希望等に変更が生じた場合には、速やかに義務教育課担当まで連絡する。

(1) 運転免許の有無 (□に✓を記入する。)(二輪免許を除く)

☐ 運転免許 有 ☐ 運転免許 無

(2) 交通手段 (□に✓を記入する。)

☐ 自家用車(四輪)での通勤は可能である。

☐ 公共交通機関のみの通勤となる。(自家用車での通勤はできない)

(3) 自宅からの通勤時間 (□に✓を記入する。)

☐ 片道30分程度まで可能 ☐ 片道45分程度まで可能

☐ 片道60分程度まで可能 ☐ 片道60分を超えても可能

(4) 勤務地等(次のうち2つ以上を選択し、□に✓を記入する。)

☐ 下田市・河津町・南伊豆町

☐ 松崎町・西伊豆町

☐ 熱海市・伊東市・東伊豆町

☐ 伊豆市・伊豆の国市・函南町

☐ 三島市・裾野市・清水町・長泉町

☐ 御殿場市・小山町

☐ 沼津市

☐ 富士市

☐ 富士宮市

(5) 週の勤務可能日数 (□に✓を記入する。)

(カッコ内は1日6時間、年間34週当たりの時間数の例)

☐ 週1日(年間204時間) ☐ 週1.5日(年間306時間)

☐ 週2日(年間408時間) ☐ 週2.5日(年間510時間)

☐ 週3日(年間612時間) ☐ 週3.5日(年間714時間)程度

(6) 県教育委員会で任用する他の会計年度任用職員との兼務の予定

※スクールカウンセラーとの兼務はできない。

(7) 要配慮事項(現時点で分かっていることがあれば記入する。)

例「〇〇小学校に、自分の子供が在籍している。」

例「〇〇中学校に、近親者(続柄、氏名、勤務校)が勤務している。」

例「既に従事している仕事との兼務になるため、週〇回以下の勤務を希望する。」

例「〇〇の事情により、年間〇時間以内の勤務を希望する。」

静西希望者記入用紙

申込者氏名

*勤務できる条件等を記入する。

*配置の際の参考とする。希望に添えない場合がある。

*今後、勤務希望等に変更が生じた場合には、速やかに義務教育課担当まで連絡する。

(1) 運転免許の有無（□に✓を記入する。）（二輪免許を除く）

□ 運転免許 有 □ 運転免許 無

(2) 交通手段（□に✓を記入する。）

□ 自家用車（四輪）での通勤は可能である。

□ 公共交通機関のみの通勤となる。（自家用車での通勤はできない）

(3) 自宅からの通勤時間（□に✓を記入する。）

□ 片道30分程度まで可能 □ 片道45分程度まで可能

□ 片道60分程度まで可能 □ 片道60分を超えても可能

(4) 勤務希望等

通勤可能な地域(下記の8つの地区より選び、第1～第3希望まですべて記入する。)

第1希望	第2希望	第3希望
地区	地区	地区

〔 磐田・湖西地区 / 袋井・森地区 / 掛川・森地区 / 掛川・菊川地区
御前崎・牧之原地区 / 島田・川根本町地区 / 島田・吉田地区 / 焼津・藤枝地区 〕

(5) 週の勤務可能日数（□に✓を記入する。）

(カッコ内は1日6時間、年間34週当たりの時間数の例)

□ 週1日（年間204時間） □ 週1.5日（年間306時間）

□ 週2日（年間408時間） □ 週2.5日（年間510時間）

□ 週3日（年間612時間） □ 週3.5日（年間714時間）程度

(6) 県教育委員会で任用する他の会計年度任用職員との兼務の予定

※スクールカウンセラーとの兼務はできない。

(7) 要配慮事項（現時点で分かっていることがあれば記入する。）

例「〇〇小学校に、自分の子供が在籍している。」

例「〇〇中学校に、近親者（続柄、氏名、勤務校）が勤務している。」

例「既に従事している仕事との兼務になるため、週〇回以下の勤務を希望する。」

例「〇〇の事情により、年間〇時間以内の勤務を希望する。」